

建築関連図面など躯体図を作図する際の柱、壁などの線分を包絡処理する。
ポリライン (LWPOLYLINE) が存在する場合は自動的に
分解される。(設定ファイルによってポリラインを対象外に変更可能。また、
2Dポリライン (POLYLINE)、3Dポリライン (POLYLINE) を
分解する選択対象として加えることもできる。)
端点が同一、同じ画層、線種、色の線分及びポリラインをいずれかの1図形を
選択することでポリラインに変更する。

(注) 本プログラムはAutoCAD 2000以降の
動作環境にて使用することができます。LTでは動作しません。

使用上の注意

コマンドの使用によって発生した障害に関しては
直接、間接をとわず使用者の自己責任となります。

機能制限版は
AutoCAD起動後、2回までしか実行できない。

動作環境設定

プログラムのインストール

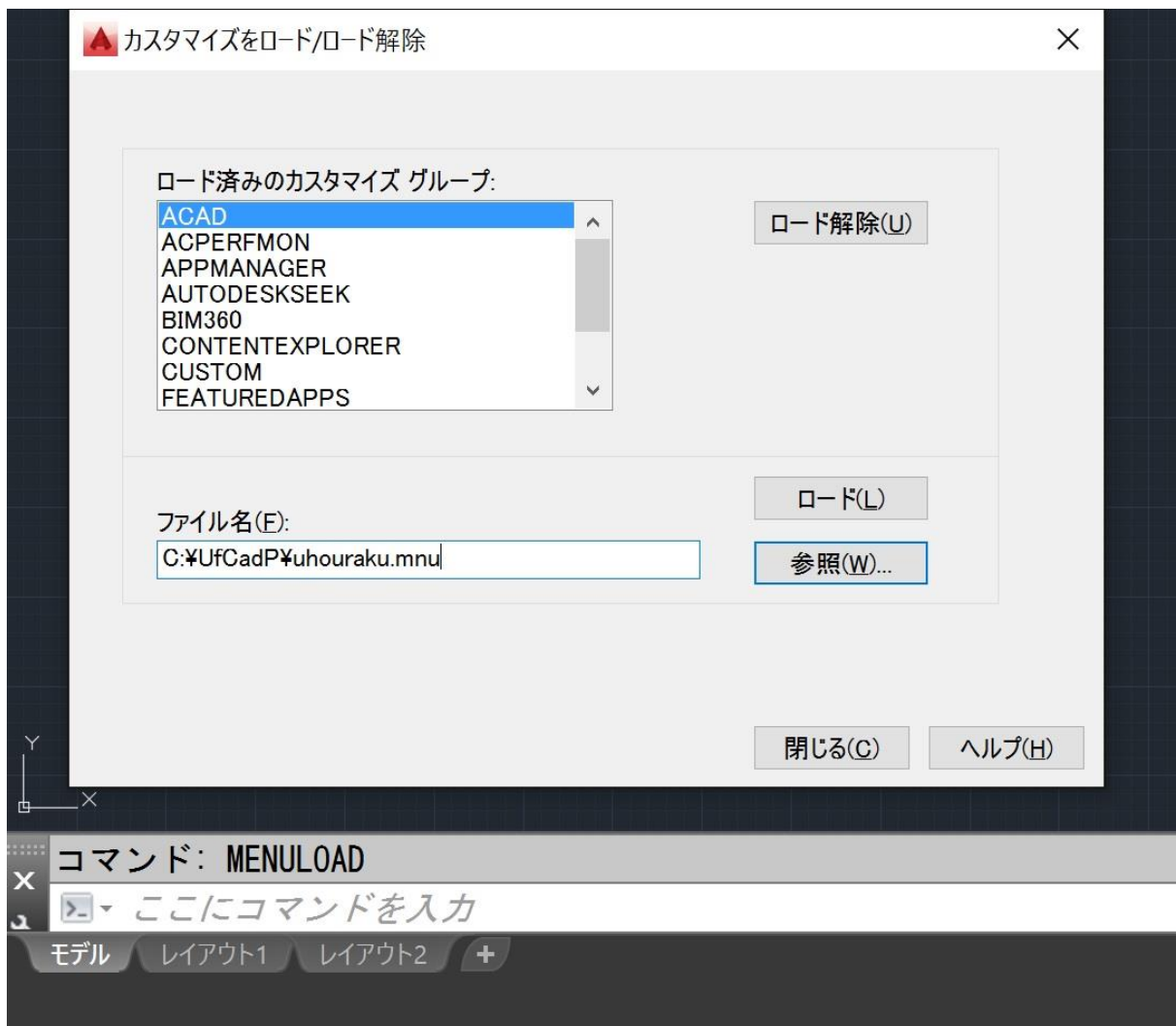
ファイル

Uhouraku_v2_3.fas, Uhouraku_v2_3.zel, uhouraku.csv,
uhouraku.mnu, uhouraku.mnl, uhouraku_ac.mnl, uhouraku_zw.mnl,
uhouraku.bmp, uhourakub.bmp, ulintopl.bmp, ulintopl.b.bmp

以上11ファイルを Cドライブに UfCadP (半角)
フォルダを作成しそこへコピーする。

メニュー定義方法

コマンド: に menuload と入力後、Enter を押す。



参照ボタンをクリックしてフォルダ（UfCadP）にある C:¥UfCadP¥uhouraku.mnu
を選択後、ロードボタンを押す。



左にあるようなアイコンが表示される。

プログラムのアンインストール

menuload でロード済みのカスタマイズグループに表示される
C:¥UfCadP¥uhouraku.mnu を選択後、ロード解除ボタンを押す。
上記フォルダ（UfCadP）へコピーしたファイルを削除する。

使用方法

包絡処理のサンプル できる場合、できない場合

包絡処理コマンドは多くの場合、それなりに包絡処理を行います
うまく処理できないケースも多くあります。包絡処理を行った結果
に関しては下記を参照して下さい。緑の枠が指定した矩形です。

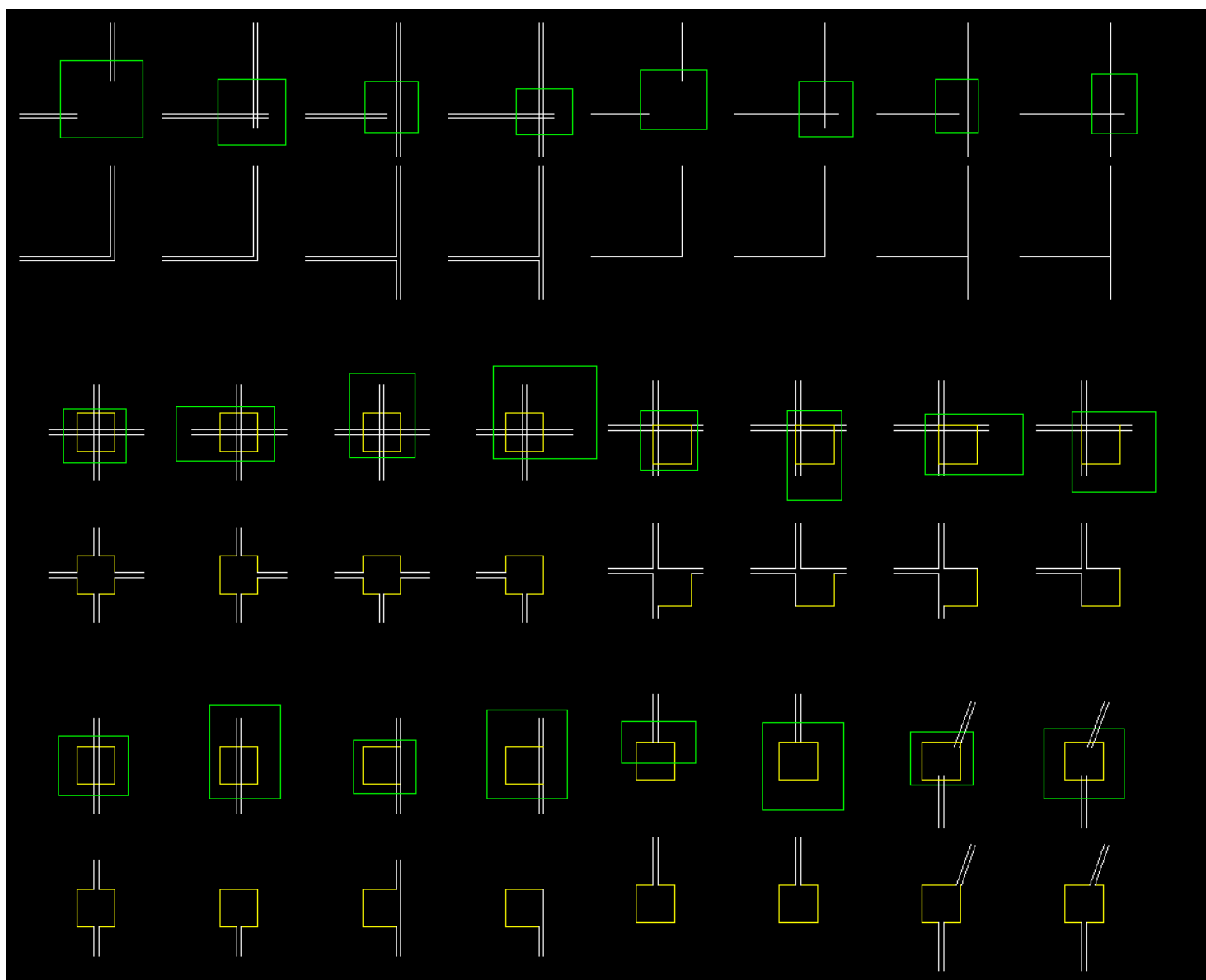
その下側の図形が処理結果です。

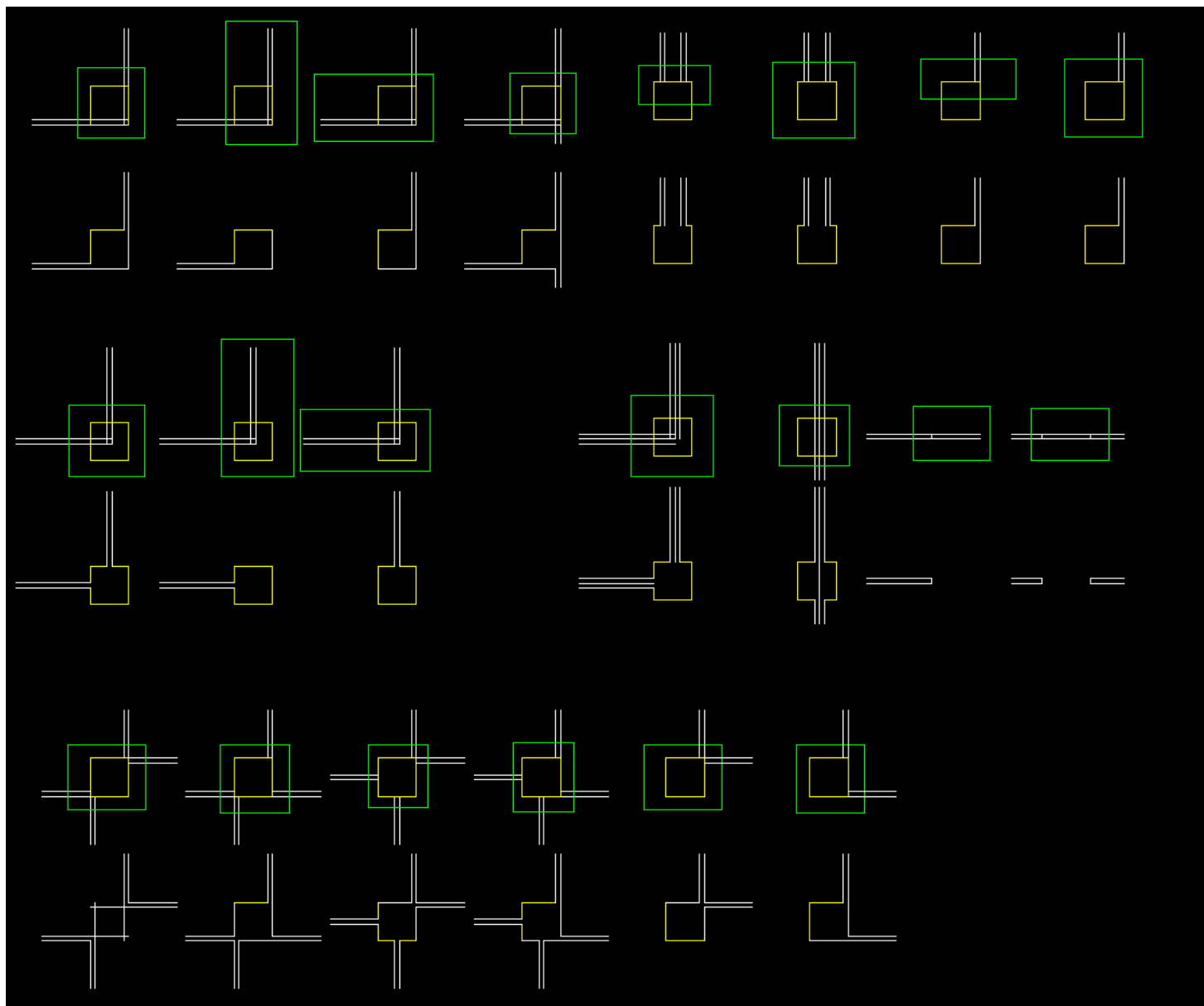
(本コマンドはうまく処理できないときは選択されたポリライン数+1回の Undo にて
本コマンドを使用前に戻すことができる。設定ファイルにてポリラインを処理対象外と
した場合は1回の Undo にて戻る。)

画層単位にて処理を行い包絡処理結果に元の図形の画層、線種、色を使用する設定にて
柱（黄色）、壁（白）は同一画層の場合の結果

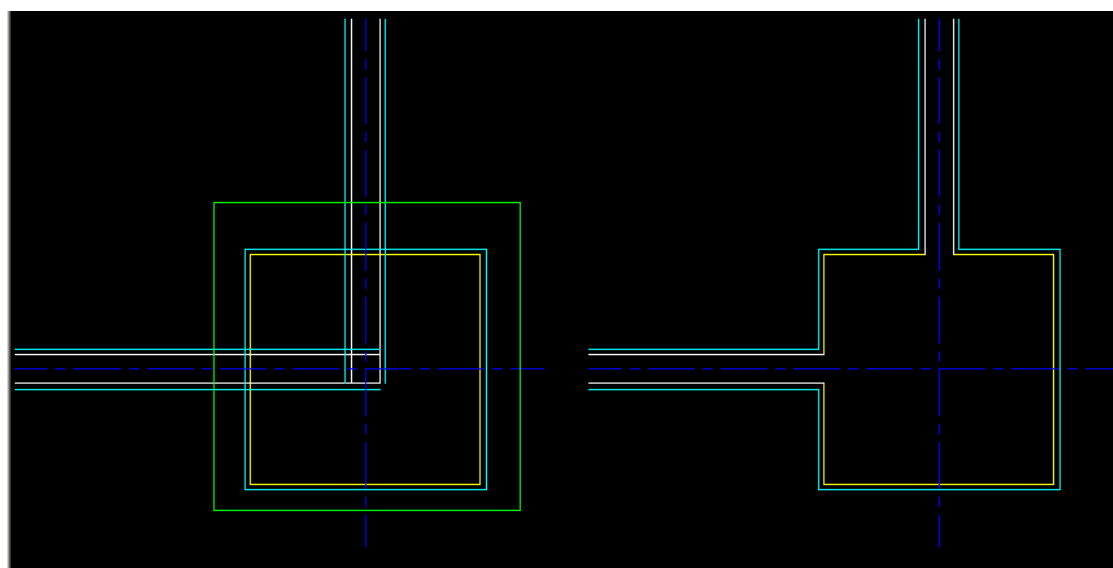
処理結果は線分が重なっている部分を1つの線分にする際に元の図形の長い線分の情報を使用
するため状況によっては柱部分が壁の色になったりする。

(柱、壁が同一画層、線種、色であればこの問題はなくなります。)



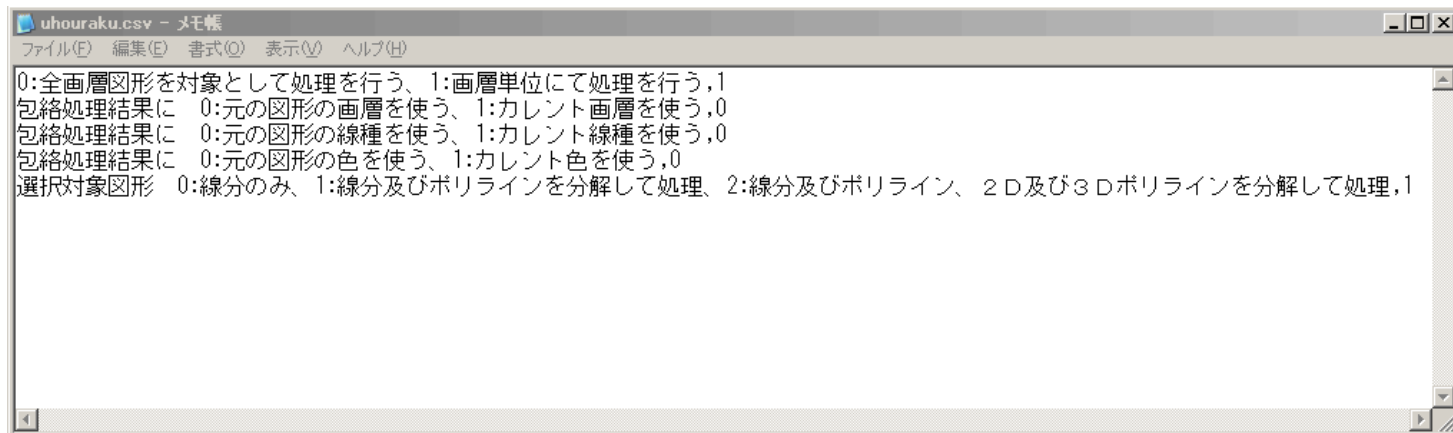


画層単位にて処理を行い包絡処理結果に元の図形の画層、線種、色を使用する設定にて
柱（黄色）、壁（白）は同一画層、仕上げ（シアン）及び通り芯は別画層の場合の結果



設定ファイルに関して

包絡処理コマンドはファイル `uhouraku.csv` の内容を
読み込み作図の設定情報を得る。従って、ファイルの内容を
メモ帳、`E x c e l` などにて修正することによりいろいろな
作図設定が可能となる。
メモ帳にて開いた状態



`E x c e l` にて開いた状態

	A	B
1	0:全画層図形を対象として処理を行う、1:画層単位にて処理を行う	1
2	包絡処理結果に 0:元の図形の画層を使う、1:カレント画層を使う	0
3	包絡処理結果に 0:元の図形の線種を使う、1:カレント線種を使う	0
4	包絡処理結果に 0:元の図形の色を使う、1:カレント色を使う	0
5	選択対象図形 0:線分のみ、1:線分及びポリラインを分解して処理、2:線分及びポリライン、2D及び3Dポリラインを分解して処理	1
6		

1 行目 A列:説明

B列:全画層を同時に処理対象として処理する場合 0 (半角)、
画層単位にて処理を行う場合は 1 (半角)

2 行目 A列:説明

B列:包絡処理を行った後に作図する線分の画層を
元の図形の画層にする場合 0 (半角)、
現在のカレント画層にする場合 1 (半角)

3 行目 A列:説明

B列:包絡処理を行った後に作図する線分の線種を
元の図形の線種にする場合 0 (半角)、
現在のカレント線種にする場合 1 (半角)

4 行目 A列:説明

B列:包絡処理を行った後に作図する線分の色を
元の図形の色にする場合 0 (半角)、
現在のカレント色にする場合 1 (半角)

5 行目 A 列：説明

B 列：包絡処理の選択対象図形を

線分のみとする場合 0（半角）、

線分及びポリライン（LWPOLYLINE）を選択対象とする場合 1（半角）

（ポリラインは分解し線分として処理されます。）

線分、ポリライン（LWPOLYLINE）、2Dポリライン（POLYLINE）

及び3Dポリライン（POLYLINE）を選択対象とする場合 2（半角）

（ポリラインは分解し線分として処理されます。）

包絡処理 (uhouraku)

機能

建築関連図面など躯体図を作図する際の柱、壁などの線分を包絡処理する。

オペレーション

メッセージ 『包絡処理を行う部分を矩形(2点)にて指示 1点目:』

オペレーション 矩形の1点目を指示する。

メッセージ 『2点目:』

オペレーション 矩形の2点目を指示する。

注) 作図の際の画層、線種、色及び包絡処理を行う単位（画層別）の

設定に関しては [使用方法 — 設定ファイルに関して](#) を参照。

処理がうまくいかない場合は選択されたポリライン数+1回の Undo にて
本コマンドを使用前に戻すことができる。設定ファイルにてポリラインを
処理対象外とした場合は1回の Undo にて戻る。

実行する上での注意事項

- ・ 処理対象図形は線分及びポリライン（LWPOLYLINE）のみで、ポリラインは自動的に分解されます。（設定ファイルによってポリラインを対象外に変更可能。また、2Dポリライン（POLYLINE）、3Dポリライン（POLYLINE）を分解する選択対象として加えることもできる。）
- ・ 線分が重なっている部分は1つの線分にする。その際に元の図形の情報を使用する設定がされている場合は長い線分の画層、線種、色が使用される。
- ・ 包絡処理の実行結果サンプルは
使用方法 — [包絡処理のサンプル](#) できる場合、できない場合 を参照。

ポリラインへ変更 (┐┐ulintop1)

機能

選択された線分、ポリライン (LWPOLYLINE) の端点にて接続される線分、ポリラインを順にたどっていき 1 つのポリラインに変更する。

オペレーション

メッセージ 『オブジェクトを選択:』

オペレーション 線分またはポリラインを 1 図形選択後、Enter を押す。

実行する上での注意事項

- ・ 処理対象図形は線分及びポリライン (LWPOLYLINE) です。
- ・ 結合される図形は選択された図形と同じ画層、線種、色で画面に表示されている図形です。
- ・ 端点に同じ画層、線種、色の線分、ポリラインが 2 図形の場合に限り順にたどっていく。

Presented By ユーザーフレンドリー

E-mail: usrfr@yk.rim.or.jp